

序論

言語を学ぶ時には上手になるように最低3つの点が必要だといわれている。それは文字、語彙、言葉と文法である。その中で、文法がとても必要だといわれている。話し言葉や書き言葉のコミュニケーションの中で使われる表現はいろいろな品詞がつながってできている。これは文法の機能である。学習者が正しくコミュニケーションできるように文法の理解が大事になると思う。

インドネシア語では「らしい」は、'seperti' 'kelihatannya' 'tampaknya' という意味がある。日本語と同じような意味を現れることがある。日本語では話し手の判断を表すために「らしい」という文型がある。しかし、日本では、「らしい」と言うのは、どのような使い方があるか、どのような意味を持つか、まだ調べられた事がないため、本論文では、「らしい」についてを調べる。

本論

日本語の文法の中に品詞分類がある、例として：名詞、助詞、副詞、動詞、形容詞、助動詞、感動詞と接続詞。富田 (1991:29) は助動詞を次のように定義している：

“「助動詞」というのは「動詞に付いて、（形容詞や名詞にも付きませんが、主に動詞に付いて）その動詞を助ける単語」という意味です。”

富田(1991:29)は助動詞を：動詞型活用の助動詞、形容詞 I 型活用の助動詞、形容詞 II 型活用の助動、特別活用の助動詞と無活用の助動詞に分けている。助動詞「らしい」は形容詞 I 型活用の助動詞に入るものである。

富田 (1991:97) は「らしい」を次のように定義している：

“見たり聞いたりしたことから判断して、確実ではないが、そうに違いないと思ったことを言うときに使う言い方で、学校文法では「推定」を表すと言っています。”

例えば：

- a. 彼の話を知ると、かなり大変らしい。
- b. 去年は梅雨明けがおそろしい。

例えば、a と b は、他人から聞いた話やテレビや新聞などで得た情報を信頼し、それを拠り所にして、推定している。これらは、自分自身の知識や体験をもとにした判断ではないということを示すために「らしい」を用いている。

庵 (2004:131-132) は「らしい」を次のように定義している：

「らしい」は状況からの判断を表す場合と伝聞を表す場合の両方にまたがった表現です。ただし「らしい」は伝聞にもつながる意味を持つことから無責任なニュアンスを帯びやすいので、責任を持って発言しなければいけない場合や論文などでは不適切になることがあります。名詞にのみ接続して、その名詞の典型的な性質が表れるといった意味を表す「らしい」

例えば：

- c. 田中さんは花もお茶も良くできて、本当に日本人らしいです。
- d. 彼は髪が長いけど男らしいです。

「らしい」と言うのは、適当な意味を持ちするために、どのような品詞を付かれるか、以下に意味や文型を表で示した。

助動詞	意味的	品詞	例文
らしい	推量/ 伝聞	N	天気予報によると、明日は雨らしい。
		A	彼が買った車は古いらしい。
		NA	新しく出たビデオカメラはとても便利らしい。
			彼は私の声が聞こえなかったらしい。
	Adverbia	そうそうアドレス帳は女の子の名前がぎっしりらしいよ。	
	比況	N	学生なら学生らしくしっかり勉強しなさい。

結論

助動詞の「らしい」はどんな意味を持ち、どんな品詞に付けられるか、次の結論を引き出すことができる：

1. 「らしい」は名詞、動詞、形容詞や副詞に付けられる。
2. 「らしい」の意味は推量/・伝聞や比況を表す。
3. 日本語の文章では、助動詞「らしい」単独では言葉として立ち上がらない。なぜなら「らしい」は付属語、意味を持たない単語であり、他の言葉を補助し始めて意味を成すものである。このことから助動詞「らしい」は日本語の文章にて言葉の語尾や文章の最後に位置づくのである。
4. 「らしい」は伝聞に基づく推量と状況に基づく推量を表す。後者については、確実性の高い推量を表すといわれるが、事態やその原因・理由などに基づいて、話し手にとって最も蓋然性の高いと考えられる事柄を提示するものといえることができる。その場合、明確な根拠に基づいて推量を排除した、客観的な推量と見ることもできる。

5. 「らしい」はある物事について、かなり確信の持てる客観的根拠のもと、そうとらえてよい状況、事態であるという話し手の判断を表す形式である。すなわち、話し手自身が、事実だと断定的には言い切ることができないものの、その場の状況や種々の情報を手がかりにして、それが事実だと十分に考えられる状態にある対象をとらえた場合に用いる表現形式である。

DAFTAR ISI

HALAMAN JUDUL	i
HALAMAN PENGESAHAN	ii
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS	iii
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI	iv
KATA PENGANTAR	v
DAFTAR ISI	vii
BAB I PENDAHULUAN	1
I.1 Latar Belakang Masalah.....	1
I.2 Rumusan Masalah.....	9
I.3 Tujuan Penelitian.....	10
I.4 Metode Penelitian	10
I.5 Organisasi Penulisan.....	11
BAB II KAJIAN TEORI	12
2.1 Sintaksis.....	12
2.2 Semantik.....	16
2.2.1 Makna Leksikal 辞書の意味 (<i>Jishoteki Imi</i>).....	17
2.2.2 Makna Gramatikal 文法的意味 (<i>Bunpouteki Imi</i>).....	18
2.3 <i>Hinshinburui</i>	20
2.3.1 <i>Jodoushi</i>	21
2.3.1 らしい	27

BAB III ANALISIS STRUKTUR らしい	
DALAM KALIMAT BAHASA JEPANG.....	33
3.1 <i>Jodoushi</i>	34
3.1.1 Bentuk らしい yang menyatakan makna asumsi.....	34
3.1.2 Bentuk らしい yang menyatakan makna kelaziman	55
3.2 Rangkuman Analisis.....	65
BAB IV KESIMPULAN.....	67
DAFTAR PUSTAKA.....	67
LAMPIRAN DATA.....	ix
SINOPSIS	xxxix
RIWAYAT HIDUP PENULIS.....	xxxvii